

えちぜん 議会だより

vol.
66
2021.11.1



越前町

人と技
海土里織りなす
快適なまち



親子運動会

目次

第3回臨時会・9月定例会報告	…… 2P～3P
議員8人が一般質問	…… 4P～11P
決算審議	…… 12P～14P
出欠状況・表紙の写真	…… 15P
災害ボランティア参加	…… 15P
がんばってます！・編集後記	…… 16P



ぶどう狩り（泰澄の杜）



空き店舗活用事業で改修した店舗

「健診受診券等作成」
323万2千円

従来7月から健診を開始しているが、令和4年度から健診案内および健診開始月を早めることにより、受診対象者の受診率の向上を図るため、受診券等の準備費用を計上する。

「空き店舗活用・起業創業促進支援」
235万円

町内の空き店舗の解消と商業の活性化を図るため、空き店舗を活用して出店する事業者に、店舗の運営経費および改修費用の一部を補助する。

また、町内で商工業を新たに起業・創業した事業者を支援するため、奨励金を交付する。

第3回臨時会

会期／8月17日

水道事業 承認第11号	一般会計		会計
	承認第10号	承認第9号	議案番号
780万	1億1,730万	3,047万	金額
上水道施設の配水管路復旧 工事設計委託費用等	河川等の修繕費用 農林業用施設等災害復旧工事 測量設計委託費用等	越前地域福祉センター天井 改修工事費用	主な内容

補正予算
専決処分の承認(7月大雨被害)

財産の取得

取得する財産
旧丹南農林総合事務所 丹生分庁舎の土地・建物
取得金額 1億1,695万円

物品売買契約

小学校大型提示装置等購入業務
契約金額 5,280万円
契約の相手方 福井システムズ(株)

中学校大型提示装置等購入業務
契約金額 2,640万円
契約の相手方 福井システムズ(株)

第3回臨時会に提出された議案等

■全会一致した議案

議案番号	件名	議決の結果
承認第9号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度越前町一般会計補正予算(第3号))	承認
承認第10号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度越前町一般会計補正予算(第4号))	〃
承認第11号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度越前町水道事業会計補正予算(第1号))	〃
議案第46号	財産の取得について	可決
議案第47号	令和3年度小学校大型提示装置等購入業務物品売買契約について	〃
議案第48号	令和3年度中学校大型提示装置等購入業務物品売買契約について	〃

■賛否が分かれた議案 (賛成：○ 反対：× ※議長は採決に加わりません)

議案番号	件名	議決の結果	小松議員	時田議員	吉田議員	石田議員	長谷川議員	中西議員	高田議員	藤野議員	米沢議員	佐々木副議長	伊部議員	笠原議長	木村議員	北島議員
請願第1号	新型コロナ禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める請願について	反対多数不採択	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	-	×	×

※産業土木常任委員会での意見(一部を抜粋して掲載)

「生活困難者への食糧支援で無償米が増えることは、かえって米価下落や、米価の混乱を招く要因となる恐れがある。」との意見や、「ミニマムアクセス米については、国際関係に影響を及ぼす国策であり、越前町議会の権限事項を超えている。」との意見があった。

発議
地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

自治労福井県本部執行委員長から、新型コロナウイルスの出現や医療・介護等の社会保障のほか、大規模災害やデジタル・ガバメント化への対応等により、地方自治体に多くの財政需要が発生してくることを踏まえ、来年度以降の地方財源が十分に確保されるよう「地方財政の充実・確保を求める意見書」を国会や政府関係機関に対し、提出して欲しいとの依頼があった。

本町においては、地方財政の確立を政府に求めることは、本町の公益上必要であることから、全会一致で可決した。

人事

越前町監査委員の選任について
次の方の選任について、全会一致で同意した。

児玉 忠氏(西田中)

人権擁護委員候補者の推薦について

次の方々の推薦について適任であり、全会一致で同意した。

武田 淳子氏(蚊谷寺)
伊部 孝幸氏(細野)
小刀称 治一氏(左右)
水嶋 真由美氏(中)

9月定例会に提出された議案等

議案番号	件名	議決の結果
報告第4号	令和2年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	報告のみ
報告第5号	令和2年度決算に基づく資金不足比率の報告について	〃
報告第6号	令和2年度越前町一般会計継続費精算報告書	〃
議案第49号	越前町手数料徴収条例の一部改正について	全会一致可決
議案第50号	令和3年度越前町一般会計補正予算(第5号)	〃
議案第51号	令和3年度越前町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第52号	令和3年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第53号	令和3年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第54号	令和3年度越前町集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第55号	訴えの提起について	〃
同意第8号	越前町監査委員の選任について	全会一致同意
同意第9号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃
同意第10号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃
同意第11号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃
同意第12号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃
陳情第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	全会一致採択
発議第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	全会一致可決

9月定例会

会期／9月8日～17日

補正予算

「デマンドタクシー導入」

872万6千円

令和4年4月からのデマンドタクシーの運行開始に向けて、運行用車両や受付業務用パソコンなどの準備費用を計上する。

「マイナンバーカード普及促進」

750万円

マイナンバーカードの普及促進を目指し、国が実施した「マイナポイント事業」に代わる町独自の普及促進事業(1人3千円の町商工会商品券等を交付)を実施するため、商品券購入費用を計上する。

※対象者
令和3年5月1日以降にマイナンバーカードを申請し、令和4年2月末までに交付を受けた町民

「0歳児入所受け入れ」

242万3千円

0歳児が保育所に中途入所するため、保育士にかかる賃金等を計上する。



伊部 良美 議員

いっぱん質問

一般質問とは
議員が行財政全般に
わたって町に疑問点をただし、
所信の表明を求めるもの



高田 浩樹 議員

豪雨災害の復旧・復興について

被害の概要は？

高田 本町での、7月29日の記録的大雨による被害の概要を伺う。

総務理事

家屋等は、床上浸水15件、床下浸水が41件、民間工場の浸水1件、農作業倉庫などの倒壊が2件であり、道路や河川、公共施設、農林業施設を合わせると250件を超える被害であった。床下から出された泥、水路や道路に堆積した土砂は、約400m³であった。

復旧・復興の支援の概要と見通しは？

高田 復旧・復興に関し、これまでの支援の概要、進捗状況、今後の見通しを伺う。

総務理事

被災地への支援は、当日から町職員が被災地を調査確認、翌日に町社協がボランティアセンターを設置、併せて町職員による被災住宅への消毒液の配布、被災者の健康状態とストレスに関する訪問相談などを行う。また、断水家庭への生活用水の手配、被災住宅の清掃等にかかった水道料の減免、一時的に居住先

を希望された町民の方には町営住宅の短期間提供を行う。

土木や農林業施設など、法律に基づく復旧・復興支援には、国や県の災害査定を受けるための測量や設計を進めている。

査定の時期は未定であるが、事業費が確定次第、補正予算に計上、順次発注を考えている。

農林業施設の被災箇所は、162か所と箇所数も多いが可能な限り来年の作付け時期、また入山の時期に間に合うよう復旧に努めていく。

復旧・復興に関する課題と対策は？

高田 7月29日の記録的大雨による災害からの復旧・復興により、見えてきた課題と対策について伺う。

町長

施設災害等での現地調査や測量設計に関して専門知識を持った町職員が少ないことから、若手職員を中心に技術研修会への参加など育成に努めていきたい。また、災害復旧復興に関し、様々な業種の民間企業等との応援協定を積極的に増やしていく。



豪雨での大規模被災箇所における改良策について

栃川区に安全対策を

伊部 栃川区の記録的大雨の災害現場は、道路の幅員が狭く、並走する川の幅員や容量が小さいと思うが、町の考えは。

建設理事

栃川区を流れる栃川川は、砂防堰堤が設置され、集落内の流路工が整備されている。県によれば、砂防施設としての能力は確保しているものの、河川としての流下能力については、判断できないとのこと。

伊部

財源は、国の国土強靱化予算を確保するなど、安全対策に配慮してほしい。

牛越橋周辺の整備を

伊部

牛越橋の護岸工事の整備について、早く解決すべき課題だと思いが。

建設理事

牛越橋上下流の護岸は県管理の河川であり、直接的な被害が無かったため早急な改修計画はなく、越知川全体の整備の中で検討する。

伊部

山水は、ヒューム管を通して本流の川へ流されるが、本流の川が長雨で増水し水位が上がると逆流

財政分析と今後の展開について

経常的な収支の傾向は？

高田 本町の財政の経常的な収支等における財政分析について伺う。

総務理事

本町の歳入において大きな比重を占める普通交付税は、令和2年度で約45億円であり、これは、合併算定替えの縮減開始前の平成26年度と比較すると、11億円の減少である。今後この縮減された金額がベースになると推定される。ここ数年間の数字を捉えようと、現状のままでは、財政収支の悪化及び財政調整基金の減少が進んでいくものと考ええる。

財政に大きな影響を及ぼす事業は？

高田

財政におけるストックや将来コストを認識し、大きな影響を与える事業を捉えていくことが重要だと考えるが、これらについての見解を伺う。

総務理事

町が有する有形固定資産（ストック資産）の老朽化の度合いを表す指標（有形固定資産減価償却率）では、令和元年度において62.2%で、平均的な範囲の上限の50%を上回り、今後、施設の大規模改修や更新

工事は避けられない状況である。今後、財政に大きな影響を与える事業等には、現在継続実施している下水道事業での浄化センターの更新や施設統合、水道事業における整備計画関連事業、教育施設の老朽化対策、鯖江広域衛生施設組合のごみ焼却施設の更新事業などが考えられる。

町が直面している厳しい財政状況に対応するためには、財政運営に対する認識を大きく変える必要がある。また、事業の効率化や適正化を進める確固とした計画性のある取り組みが求められている。

個々の施策において優先度を見極めながら、事業の取捨選択を行い、必要な事業でも可能なものは事業期間や事業費の調整を行うなど、歳入に見合った歳出への転換を進めていく。

財政運営における今後の展開は？

高田

本町での財政運営における今後の展開について伺う。

町長

町が直面している厳しい財政状況に対応するためには、財政運営に対する認識を大きく変える必要がある。また、事業の効率化や適正化を進める確固とした計画性のある取り組みが求められている。個々の施策において優先度を見極めながら、事業の取捨選択を行い、必要な事業でも可能なものは事業期間や事業費の調整を行うなど、歳入に見合った歳出への転換を進めていく。

公有水面の埋立てについて

公有水面の埋立地の現状は

伊部 公有水面の埋立ての法律は、いつ公布されたのか。また、その区域とは、どのような区域を指されるのか。

建設理事

公有水面埋立法は、大正10年4月に公布されている。要件は、①水流または水面であること、②公共の用に供するものであること、③国の所有に属するものであることである。

伊部

厨地係の公有水面の埋立ての許可申請について、埋立ての丈量図と丈量面積は正しいのか。また、丈量面積と実測面積は正しいのか。県で国道305号に格上げされ、その後、町道になったが、この道路の公有水面の埋立地が未だ登記されていない。そして、登記をしようとする、町有地と重なるのではないかと思われるが、現状は。

建設理事

厨地係の町有地と未登記の埋立地が重なるとの意見だが、現在、県が登記に向け測量作業を進めている。測量成果により、先ほど指摘があった点も含めて県と協議していきたい。

越波対策について要望を

伊部

何故このことを尋ねるのかという、毎年、冬になると越波があり、これによる通行止めが町民の生活に支障が出ることが続いている。そういう意味で、県に越波対策を要望できないか。

建設理事

越波対策については、現在、指摘部分も含め左右・梅浦・米ノ地係で越波対策を要望している。梅浦地係は、ダイビングスポットでもあり、漁業者との関係もあるもので、地元の方と協議して県に要望していきたい。





吉田 憲行 議員

いっぱん質問



中西 清 議員

統合給食センター業務について

統合給食センターの現状は

中西

給食センターの統合により、食数や配送時間の増加、合理化による人員削減などで、質の低下が懸念されるが、現状について伺う。

また、給食に対しての児童・保護者の意見や要望をどのように集約し改善しているのか。給食の在り方について学校との話し合いはあるのか。

教育長

平成31年1月から業務を開始し、現在約1,900食を提供しており、統合による人員削減等を要因としたトラブルは発生していない。配送時間の課題については、配送車を増やすことで対応し、また保温性の高い食缶を採用することで温度管理を行い、安心で安全なおいしい給食を提供している。給食の運営については、運営委員会を年2回開催し、実施状況や取り組みなどを協議している。その他、児童・生徒に対してアンケートを実施したり、献立に対して学校から意見を聞いたりしている。また、「献立作成物資選定委員会」を開催し、食べやすい献立かどうか毎月検討している他、新小学1年生の保護者には学校で試食会を実施するなど、意見や要望を伺っている。

安全で質の高い給食を

中西

地元産の無農薬野菜や新鮮な水産物を調達し、越前焼を食器に導入することで、安全で質の高い給食の提供ができると共に、子ども達の地場産業への理解、食と物の大切さを学ぶ食育を給食により実現することで、本町に愛着の持てる子どもを育てていきたいが、現状はどうか。

教育長

本町の県産地場産食材の使用量について、県が令和2年に県内を対象に実施した調査では、あわら市について2番目の60.9%、また使用品目数では52品目で1番となっている。

越前焼の導入については、試作品を製作し、運搬試験や洗浄機による耐久試験等を実施した。しかし、運搬中に食器に過重と振動が加わり割れるなど、安全性が確保できなかったため、導入を断念した。



コミュニティバスの運行改善、町外運行延伸について

今後のコミュニティバスの運行は

中西

コミュニティバスの運行区域や乗車料金について、国の制約があるのか。また、コミュニティバスにかかる経費と路線バスへの委託料はいくらか。

コミュニティバスや路線バスの本数や運行時間について、町民から不便であるとの声を聞くが、今後の対応は。

町長

運行区域や乗車料金の設定については、国の制約や基準があるわけ

では、国の制約や基準があるわけ

多世代共生型住宅の整備で地域コミュニティ再生モデルづくり

多世代共生型住宅の整備を

中西

独り暮らしの高齢者が多く、通院が困難な越前地区に、住宅の整備が必要だと考えられている。高齢者と若者が支え合い協力しながら暮らす多世代共生型住宅を、町独自の予算で整備し、地域コミュニティ再生モデル事業としてはどうか。

町長

町の人口が減少している状況の

一方で、新築住宅の戸数は増えている。ライフスタイルの多様化や仕事の変化によって、夫婦や親子だけで構成される家族が増え、本町においても若者と高齢者が同居する住宅は減少している。漁業を目指す若者に対しては、厨地区に、新規漁業就業用住宅1棟を整備する計画を進めている。本町の地域性や独自性を生かし、コンパクトなまちづくりを目指していきたい。

有害鳥獣対策について

越前町の猟友会とは

吉田

私の居住区の「鳥獣害対策実行委員会」は、毎年、尾根に設置した電気柵、防獣ネットの管理やメンテナンスを行い、猪鹿の被害を防いでいるが、防獣ネット等では防げない事案も出てくる。

ここで頼りとなる「越前町猟友会」の活動と、町との関わりを伺う。

産業理事

本町の猟友会は、会員49名(うち

まちの予算について

自主財源確保は?

吉田

本町の自主財源の多くは、町税(個人・法人町民税、固定資産税等)の総額約22億円で、町税は財政を維持するために重要である。その方策が、町税滞納金の回収だと考

えらるが、町税滞納金の回収方針と、また増収手段であるふるさと納税について伺う。

会計管理者

令和2年度決算で、町税滞納金は約1.5億円、約560名に滞納がある。納税意識の欠如が主な原因であるが、その対応として、督促状・催告書の送付や納税相談

町の運営について

越前町を福井県の顔に

吉田

本町は、山、海、田畑、閑静な住宅地があり、風光明媚で住みやすい町だが、それ故に、数多くの産業に広く予算を配分する必要がある。

観光業に焦点をあけると、本町には全国に誇れる「越前ブランド」が豊富にあり、観光集約都市としての位置づけを国や県にアピールでき、それをインフラ、観光振興に対する県の予算配分を強く要望できるのではないか。そこで、町と県との連携について伺う。

産業理事

海水浴場等の整備、宿泊施設等の経営改善や店舗改修に向けた事業など、県との協働事業や県から支援を受けて実施した事業が数多くあり、本年度も県の観光施策を活用した補助事業を行っている。今後も観光振興に向け、県との連携を図っていく。

議員選挙のあり方について

投票時間の短縮はできないのか

吉田

町長・町議会議員選挙の投票時間について、期日前投票が増えてくるなか、投票閉鎖時刻を早めて

も影響が少ないと思うが、町としての考えは。

町長

有権者の考えが適切に反映されることを前提に、町選挙管理委員会に判断を委ねたい。



木村 繁 議員



いっぱん質問



長谷川 眞恵 議員



地域の発展のために

糸生地区に診療所を

長谷川

糸生地区は、渡辺内科医師亡き後、無医村状態が続いている。高齢者も多く、医師を派遣して診療を行うなど、住民の健康管理のため医療福祉を充実させたい。そこで、地域住民が安心して生活できる体制づくりについて伺う。

町長

本町には、織田病院をはじめ6つの医療機関があるため、診療所を開設することは考えていない。医療機関への通院については、コミュニティバスを利用していただき、通院できず在宅医療を受けた方は、医師の往診のほか、訪問看護の制度を利用していただきたい。

大谷寺を世界に発信

長谷川

糸生地区には泰澄大師ゆかりの「大谷寺」があり、1300年前より受け継ぎ、お守りしている宝物がある。この貴重な品を、世界に向けて発信してはどうか。また、新幹線の開通に伴い、観光ルートに組み入れてはどうか。観光客を増やして、地域活性化に活用すべきである。

町長

大谷寺は、由緒ある古いお寺として、歴史愛好家が訪れている。観光振興に歴史資産を取り入れることは大変有意義で、町観光連盟では、大谷寺や朝日観音福通寺など、町内の神社仏閣を巡るツアーを企画し観光誘客に努めている。北陸新幹線開業に向け、今後も県や県観光連盟、近隣市町との情報交換や連携を密にして誘客につなげていきたい。

産業の誘致と育成を

長谷川

若者や地域存続のため、産業の誘致・育成を願うが、今後の取り組みは。

町長

地元の方が就労できる場を確保することは重要であり、その中でも企業誘致は若い方だけでなく、町民の雇用確保の観点からも大きな効果がある。

今後も、県と情報共有を図り、工場等の進出を検討している企業に対し、本町の企業立地補助制度や遊休地などの情報を積極的に提供していきたい。



越前町老人福祉施設の管理計画について

老人福祉施設の今後の在り方は

木村

本町には、朝日地区に老人福祉センター「幸若苑」と宮崎地区に老人憩いの家「陶寿園」の老人福祉施設がある。両施設とも老朽施設で、建物の傷みが目立つ。両施設の過去10年間の利用者の推移を見ると、幸若苑は、平成27年度の6,249人をピークに、令和元年度には4,734人と24.3%減少し、陶寿園は、平成22年度の4万4,517人をピークに、令和元年度には2万6,284名と40.9%減少している。

そこで、老人福祉施設の今後の方向性について、町長の所見を伺う。

町長

両施設は、地域の高齢者に対して、教養の向上及びレクリエーションのための場を提供すること健康増進を図ることを目的に建設した。老朽化が進む両施設の今後を検討するため、昨年度「老人福祉施設のあり方検討委員会」を開催し、今年3月には「検討結果報告書」が町に提出された。報告書では、高齢者の



▲老人福祉センター「幸若苑」



▲老人憩いの家「陶寿園」

体力の低下や社会的孤立が懸念されるなか、健康増進やサークル活動、介護予防等を含めた高齢者の交流の場として必要という意見があった。また、施設は統合して新たに建設との意見がある一方、入浴施設は多額の投資や維持管理費が必要であり、公費負担の在り方として妥当なのかという意見もあった。

両施設には毎年約1,500万円の維持管理経費が必要であり、町としては今後の利用者の動向を見極めながら、町全体の施設の在り方や、各種計画の内容を踏まえ、両施設について検討していく。また、検討委員会の意見については、施設利用者の見込み等十分に検討し、総合的に判断する。集中と選択、スピード感のある対応をしていく。

第2次えちぜん男女共同参画プランについて

女性区長の誕生を

長谷川

本町において、長年、女性区長がいないが、どうすれば地域において活躍する女性が誕生するのか。例えば、推薦権限のある行政委員に、町が女性登用を薦める方法がある。そこで、今後の取り組みについて伺う。

町長

「第2次えちぜん男女共同参画プラン」は、昨年見直しを行い、政策・方針決定の場への女性の参画拡大などの重点目標を定めた。過去には女性区長が1名いたが、それ以後は男性が占めている。地域において活躍する女性が誕生するためには、地域の中で、様々な場に女性が参画する機会を増やしていくことが重要である。

現在、教育委員に女性1人、選挙管理委員に女性1人いるが、その他の委員は男性のみである。女性の登用を拡大する方法として、委員数の一定比率を女性に割り当てる「クオーター制」などがあるが、日本は導入が進んでいない。各種審議会委員の女性の割合は上昇しており、今後も様々な政策・方針決定の場への女性の参画拡大を促していく。

生理用品困窮者の課題

長谷川

SDGsの社会を実現するため、若者男女に関わらず、働きやすい地域をつくらなければならないが、具体的などのような取り組みをしているのか。また、女性の生理用品困窮者、生理の貧困の課題が浮き彫りになっているが、どのような取り組みを進めているのか。

町長

SDGsの視点について、えちぜん男女共同参画プランにおいても、「誰一人取り残さない」をキーワードに、17の国際目標の中で、「ジェンダー平等を実現しよう」「人や国の不平等をなくそう」「平和と公正を全ての人に」の3つの目標を中心に、男女共同参画を推進していくことを明記している。誰一人取り残さない、働きやすい地域を作っていくため、計画では、仕事と生活の調和の推進を重点目標として掲げている。

また、女性の生理用品困窮者や生理の貧困については、周辺市町との状況を参考にしながら対応していく。



「兼業促進制度」について

越前町バージョン

木村

県が創設した「兼業促進制度」が始まって1年、県職員8人の方がチャレンジをしている。そのうち1人は、一般社団法人福井県まちづくりセンターのスタッフに就き、企業のオンライン事業を後押しするサイト「オンフク」に携わり、土日の時間を充てて、新サービスのアイデアを練っている。また、もう1人は、中山間地域で複数の農地を集約管理する担い手農家として、あぜ管理や土手の除草管理など、病害虫の繁殖を防ぐため農家の応援に当たっている。

そこで、「越前町バージョンの兼業促進制度」の取り組みについて、町長の所見を伺う。

町長

福井県では、「現場で輝け、福井県地域ビジネス兼業促進制度」と銘打ち、地域活性化や子育て支援、環境保全など多様化する地域課題を解決していくため、職員が行政経験を活かし、団体や企業と協働することを目的として、県職員の兼業制度が創設されている。また、全国的にみても、同様な取り組みを行っ

ている自治体も見受けられる。地方自治体の職員は、地方公務員法により兼業を制限されており、本町においては「越前町職員の営利企業等の従事制限に関する規則」を定め、3つの要件を満たし、かつ地方公務員法の精神に反しないと認められる場合に許可することができるとしている。

現在、約30名の町職員に対し、報酬を伴う兼業を許可している。その多くは消防団の入団許可で、それ以外では農事組合法人での作業従事やスポーツ団体の就任、NPO法人の就任などが挙げられる。

本町の取り組みは、県の趣旨とは若干異なるかもしれないが、特に消防団の入団に関するものは、地域課題や担い手不足の解消といった点で、大きく貢献している。今後もこの取り組みを継続して維持していくと共に、職員が地域の一住民として真に地域が必要としている課題の解決に向けた社会貢献活動や地域づくり活動、自治会やNPO法人の活動などに積極的に参画できるように体制づくりに努めていく。



石田 和朗 議員

いっぱん質問



時田 和良 議員

記録的大雨による災害についての町の対応と防災計画

町の対応は適切であったか？

時田

令和3年7月29日の早朝より降り出した雨は過去に類を見ない大雨で、朝日地区に避難指示が発令された。このような非常事態のなかでの町の対応について伺う。

そして、防災行政無線による情報伝達はどうかであったのか。また、戸別受信機の設置状況及び今後の設置目標について、町長の所見を伺う。

町長

今回、前日28日の福井地方気象台の予報では、大雨警報が発令する可能性はないとの見解だった。しかし、強い雨を降らせる雨雲が突如発生し、本町の一部に記録的な大雨が降り、一部の地区では土砂崩れや小規模河川が氾濫し、災害を受けた。

非常事態のなか、職員の見守りや伝達、会議については、これまでの経験や訓練等により、マニュアルに準じた対応が行われた。しかし、短時間に記録的な大雨となったため、職員のパトロールが追いつかず、現地の状況把握に予想以上の時間を要した。また役場では、職員が災害関係の電話対応に追われ、災害対応に支障を来していた。防災行政無線による情報発信に

自主防災組織の新規設立、既存組織の強化や支援

今後の地域防災には町民の協力が不可欠

時田

7月29日の記録的大雨の災害時に、朝日地区・織田地区・福井市からの全ての道路が一時的に寸断されたことで、糸生区域の避難所に町職員が行くことが出来なかった。

今回のように、線状降水帯の発生による豪雨災害や土砂災害は、場所によって被害状況が全然違っており、行政の判断や対応が迅速にできない状況が多々出てくることを考えられる。今後の防災体制の整備・強化には町民の協力が不可欠であることから、今後の自主防災組織の新規設立と規制組織の質的強化を進め、官民一体となって「災害に強い町づくり」を目指して欲しいが、町長の所見を伺う。

町長

現在、町内には女性消防隊を含めた64の自主防災組織が設立されており、直近の世帯カバー率は、本町は77.3%、全国平均は約84%、福井県は約91%である。自主防災組織の強化や支援については、平成24年度から自主防災組織への資



▲町道栃川線（栃川）の冠水の様子

登下校の子どもを守る「いっぴん」

子どもは守る「いっぴん」も110番の家

石田

万葉集のなかに、山上憶良の歌「銀も金も玉も なにせむに 優れる宝 子に及かめやも」があり「銀も金も玉も、どうしてすばらしい宝の子どもに及ぶだろうか」と学んだ。昔も令和になった今も子どもは万金に値すると思う思いは同じである。本町の子ども達も大事な町の宝であることは間違いない。

そこで、子どもを守ってくれる「子ども110番の家」の民家や事業所等について伺う。見れば、「子ども110番の家」だと分かるプレートが掲示がされている民家があったりする。また、平成12年に大規模小売店舗における法律が変更されて以降、急激に地域立地の小売店舗が減少し、子どもの駆け込み場所が減少しているのではないかと。実態を把握し、安全確保の見直しを図ったかどうか。

教育長

この事業は、町と教育委員会、鯖江警察署が連携して実施している。本町の加入件数は、令和3年8月末現在で242件、うち事業所の件数は180件である。しか

※「いっぴん」も110番の家とは、子どもに対する、付きまといなどの不安を抱かせる事案に対し、通学路周辺の民家や事業所、店舗などが緊急避難先となつて、避難してきた子どもを保護し、警察などに通報を行う民間の協力拠点である。

学校での教育は

石田

子どもは学校で、「子ども110番の家」の役割や駆け込み場所などの教育を受けているのか。また先生方は、下校ルートを確認しているのか。保護者、学校、関係機関との連絡協調について現状を伺う。

教育長

学校では、先生方が通学路の確認を行うと共に、小学3年生の社会科副読本で、いざというときに助けを求められる「子ども110番の家」があることを授業で教え

ている。保護者には、子どもと一緒に確認してもらい、家庭での指導もお願いしている。

地域での見守りは、登校の時間に合わせ、各学校のPTAが中心となつて、高齢者等の協力者と共に通学路の見守り活動を実施しており、下校の時間には教育委員会が主体となつて、車両によるパトロールも実施している。

通学安全確保について

石田

朝の通学は、年長学年と一緒に集団登校をするが、下校は学年によってバラバラで少人数である。近年、全国各地で登下校中の児童の列に車が突っ込み、死傷者が多数発生する事故が相次いでいるが、本町の通学路の安全確保は万全なのか。また、通学路の危険箇所の把握はされているのか。

町長

通学路における交通安全の確保については、平成24年以降に、全国で登校中の児童が死傷する事故が相次いで発生したことから、国から通学路の安全点検および安全対策を講じるよう依頼があり、本



町においても点検を実施し、必要な対策を行った。その後も継続的に安全確保を図るため、平成26年度から関係機関で組織する「越前町通学路安全推進会議」を設置し、その取り組み方針等を定めた「越前町通学路安全プログラム」を毎年改訂している。会議後は、各関係機関において、予算措置や一時停止標識、カーブミラー等の設置、横断歩道や止まれ等のペイント塗装を実施している。また、警察による交通違反の取り締まりや町の交通指導員等による街頭指導の強化等、ハードとソフト事業の両面から対策を講じている。

今後も引き続き、関係機関と連携を密にしなが、危険箇所の解消に努めていく。

一般会計 6億910万円の黒字決算

(実質収支額)

収入総額
184億7,024万円

支出総額
178億1,353万円

翌年度に
繰越する額
4,761万円

実質収支額
6億910万円

9月議会定例会で、令和2年度一般会計と9特別会計、2事業会計の決算を審議した結果、全会一致で認定した。審議時には、次のような質疑があった。

総務部門

公共施設個別施設計画活用

問 公共施設個別施設計画を策定しているが、今後の活用方法は。

答 総務理事 建築物の耐用年数を基に修繕などを行い、壊れたから直すという考えではなく、平準化して考える。今後は職員も、この計画を認識しながら進めていく。

バスの定期券で電車利用も

問 バスについては、路線によって1日に3本しか運行がなく、テスト期間中は時間が合わない。バスの定期券で電車も利用できれば、学生の利便性が良くなると思うが。

答 総務理事 現時点で即答はできない。趣旨は理解できたので、まずは事業者と話を伺う。

防災行政無線の課題

問 防災無線の設置率は、朝日地区が60%、その他の地区が80%であることから、今後も設置率を上げていくことは重要だが、それとともに聴取率を上げていくことも重要である。

答 時報が長い、家の構造等によっては音量を最小に絞っても音が大きいなどの理由で、電源を抜いてしまうケースもあると聞いているので検討して欲しい。

子どものワクチン接種率は

問 新型コロナウイルスのワクチン接種で、12歳から18歳までの接種率は。

答 民生理事 12歳から18歳までのワクチン接種は、高校生よりも中学生の接種率が低くなっている。このため、教育委員会から、中学校をとおして、改めてワクチン接種のチラシを配布した。



サンライズ織田にてワクチン接種

産業部門

地元負担金の見直し

問 現在、小規模な土地改良事業の地元負担金は30%と10%があり、見直す考えがあるが聞いたが、現状は。

答 町長 負担割合の変更は、国や県の縛りはない。財源の問題もあるため、今後検討していく。

UーJターン促進選及補助

問 令和2年度のUーJターン促進事

答 総務理事 過去にも苦情があり、ポリユームを下げていたが、再度、ポリユームと時報の長さに関して検討していく。

答 健康保険課長 AEDは現在67か所の公共施設に設置しており、健康保険課で一括して定期的に機器の更新や消耗品の交換を行っている。また、過去3年間には使用した実績はない。

問 ふるさと納税による寄附額は1億5,800万円であるが、逆に町民が他市町に寄附した額は。

答 企画財政課長 他市町に寄附したふるさと納税の額は、令和2年度では、1,051万8千円である。

クラウドファンディング型ふるさと納税

問 クラウドファンディング型ふるさと納税寄附金は。

答 企画財政課長 コロナの影響で陶芸まつりが中止となり、陶芸家の販売ルートが無くなってしまった。そこで、窯元を支援するというところで、1か月間、ふるさと納税制度によるクラウドファンディングで募金を募った。返礼品として、越前焼を贈っている。

会計部門

滞納金額の減少

問 税の滞納整理は、全理事・課長などで協議、協力し合い、来年度の決算には減少するよう努力してほしい。

答 副町長 担当課長が自ら徴収を行っており、更に県の滞納整理機構とも相談しながら、徴収に努めていきたい。

民生部門

AEDの管理

問 本町にAEDはいくつあるのか。また、保守や更新、使用状況など管理体制は。

答 民生理事 検討委員会や保護者のアンケート結果を踏まえ、検討していく。

29ある空き店舗の実態調査を行い、商業振興に努めていく。

越前陶芸村の整備予算

問 昨年、越前陶芸村文化交流会館改修工事の予算がついたが、越前陶芸村は県の施設なので、運用に関してはできるだけ県から予算を頂けるようなシステムを取っては。

答 産業理事 陶芸村は県の施設で県が整備している。今回改修を行った文化交流会館は町の建物なので、県の助成は難しい。しかし、越前焼の振興は、県と町が今後取り組んでいかなければならない事業なので、県に対して要望していく。

町有林の調査場所

問 町有林の調査委託料の実施場所の現状は。

答 産業理事 平成26年度から調査を行っており、朝日、宮崎、織田地区の調査は終了している。平成28年度から越前地区の調査を実施しており、令和2年度も調査を続けている。

空き店舗の実態把握

問 空き店舗について実態をしっかりと把握し、持ち主との十分な協議も必要である。

答 産業理事 商業の振興を図る上で、空き店舗を少なくしていきたい。今後、

答 住民環境課長 海岸漂着物の回収は、海開きまでに行っている。海藻類は、天候が荒れるとすぐ漂着するので対象にしている。回収は、県からの補助を受けているため、県と協議し検討する。



越前町役場1階に設置

海藻類の回収

問 海岸漂着物の回収は、主にプラスチックのごみ類だが、海藻類も含めることは出来ないか。

問 定員を大きく下回っている保育所があるが、今後の保育所整備に関しての考えは。

保育所の整備

問 通学路などで倒壊のおそれのあるブロック塀を撤却する支援制度の取り組みの状況は。

建設部門

危険ブロック塀撤去

答 建設理事 毎年4月の広報誌に、空き家等対策の補助制度事業と併せて周知をしている。対象者には、相談に応じた上で、担当職員が現地の対象物を把握し、危険な場合は、補助制度を利用し除去するよう指導を行っている。通学路における危険ブロック塀の状況調査は、平成30年度で5件あり、そのうち2件は除却されている。

オペレーター不足を職員で

問 除雪のオペレーター不足が問題になっている。職員も除雪のオペレーターをするということであったが、現状は。

答 建設理事 現在、大型特殊免許で除雪対応できる職員が50人おり、今年の大雪山の時も、日中の町道路線の幅幅や融雪が効かない箇所を除雪を行った。また、20代の若手職員には、令和元年度と2年度に2名ずつ除雪に必要となる免許を取らせている。

今後のまちづくり

問 小規模住宅地開発支援事業で、令和2年度に289万円支出している。この事業は、令和2年度までということだが、5年間の実績と今後は。

議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況

6月15日～9月17日

○…出席 ×…欠席 ()は理由 △…遅刻・早退

月日	曜日	諸会合名	笠原議長	佐々木副議長	小松議員	時田議員	吉田議員	石田議員	長谷川議員	中西議員	高田議員	藤野議員	米沢議員	伊部議員	木村議員	北島議員	
7	2 金	町議会広報研修会	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	
	5 月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	7 水	議会広報特別委員会	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	
	15 木	議会広報特別委員会	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	
8	28 水	議会運営委員会	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	×(病)	○	○	○	
	2 月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		産業土木常任委員会	-	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○
	4 水	鯖江広域衛生施設組合議会全員協議会・定例会	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	
	13 金	鯖江・丹生消防組合議会全員協議会・定例会	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	
	16 月	公立丹南病院組合議会全員協議会・定例会	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-
		県丹南広域組合議会全員協議会・定例会	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○
	17 火	議会運営委員会	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○
	27 金	第3回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	6 月	議会運営委員会	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○
8 水		議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9 木		9月定例会 本会議 (1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		9月定例会 本会議 (2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10 金		総務文教厚生常任委員会	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	
13 月		9月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14 火		9月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15 水		9月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16 木		9月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17 金		9月定例会 本会議 (3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報特別委員会	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	



教育部門 丹生高校育成事業

答 定住促進課長 平成28年度にスタートした事業で、5年間で4事業実施した。今後の事業継続は、理事者と協議しながら検討していきたい。

問 丹生高校の育成事業負担金の内訳について伺う。

答 教育委員会事務局 主に、中高一貫教育関係で、講師謝礼や大学見学のバス代に活用している。また、青雲特待生の奨学金は、48人が受給している。

ヤングケアラー調査

問 家族の世話や介護をする子ども(ヤングケアラー)について、今年に入って国がアンケート調査を行ったところ、中学生の17人に1人が該当するという現状があるが、本町は調査をしているのか。

答 教育委員会事務局 現時点で本町の小中学校に、ヤングケアラーがいるかは把握していない。しかし、県において、実態調査をする動きがあるので、協力して進めていきたい。

英語に親しむ活動指導

問 英語に親しむ活動指導講師派遣委託料の内容は。また、中学校費でこの委託料がないのはなぜか。

答 教育委員会事務局 小学校高学年では、英語教育が教科化され、それに伴い指導講師を派遣するというもの。1年生から4年生までの学年も、英語に親しんでもらうという目的で派遣している。中学校は、当然教科となっているので、この事業はない。



系生小学校 4年生の英語活動

本町の学校給食は

問 学校給食では地域の野菜を使用しているが、有機農法なのか。

答 また、コロナ禍で経済状態も大変悪化している現在、学校給食が唯一のエネルギー源になっている児童がいるが、本町の実態は。

答 教育長 有機栽培で取れた野菜や米を使用したいが、定期的なものや数量的なものではない。ただし、「えち膳の日」などの特別な日には、有機栽培の食材を使い、生産者にも学校に来ていただき、児童・生徒と一緒に食べている。また、児童・生徒の貧困に関する問題についての実態調査はしていない。しかし、校長会や教頭会の中で、そういったことが見受けられる報告があれば、すぐに教育委員会として対応していきたい。

9月定例会に提出された議案等

議案番号	件名	議決の結果
認定第1号	令和2年度越前町一般会計歳入歳出決算認定について	全会一致認定
認定第2号	令和2年度越前町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第3号	令和2年度越前町介護保険事業特別会計(保険事業勘定・介護サービス事業勘定)歳入歳出決算認定について	//
認定第4号	令和2年度越前町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第5号	令和2年度越前町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第6号	令和2年度越前町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第7号	令和2年度越前町集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第8号	令和2年度越前町温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第9号	令和2年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第10号	令和2年度越前町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第11号	令和2年度越前町上水道事業会計決算認定について	//
認定第12号	令和2年度越前町国民健康保険病院事業会計決算認定について	//

「災害ボランティア」に参加

越前町社会福祉協議会は7月30日、記録的大雨被害に関する「災害ボランティアセンター」を開設した。町民や町職員と共に、町議会議員も災害ボランティアに参加し、被害の大きかった地域で、側溝や住宅に流れ込んだ泥をかき出すなど、復旧作業にあたった。

表紙の写真 宮崎中央保育所(江波)

上段写真 親子運動会では、年長児が団旗や万国旗、Tシャツを手作りして準備。また、開会式のリーダーや競技の応援団長など主体となって活躍してくれました。みんなで力を合わせてがんばった踊りでは、「かっこよかったです」とたくさんの拍手が鳴り響き、「自信」という大きな力が育まれました。

下段写真 楽しい体験をしよう！と年長児が泰澄の杜へぶどう狩りに行きました。頭上に広がる沢山のぶどうに目は輝き、口いっぱいに頬張りながら「おいしくい」と笑顔満開。お腹が膨れると、自然の中で昆虫探しも満喫しました。



自己紹介をお願いします
私たち「越前花みずき」シルバーソフトバレーボールチームは、宮崎地区で30年以上活動しています。男性14名、女性10名の64歳から88歳までの会員がいて、平均年齢は74歳です。現在は、越前町各地区の会員で構成されています。



**がんばって
ます!**

「越前花みずき」
シルバーソフトバレーボール

Interview activities

**活動内容について
教えてください**

毎週火曜日は宮崎小学校体育館、金曜日は陶の谷の宮里あずま館で、午後7時30分から9時15分まで練習を行っています。

チームは、福井県シルバーソフトバレーボール連盟に加盟していて、この連盟には県内各市町の約75チームが登録しています。

毎年、県シルバーソフトバレーボール連盟や各市町主催の大会に、年間約17回参加していましたが、コロナウィルス感染症防止の影響で、昨年からは全く対外試合が行われていません。今は一日も早く、以前のように対外試合ができることを楽しみにしています。

最後に一言お願いします

まだまだ元気ハツラツ。健康長寿目指して「がんばってますー!」
只今、会員募集中です!!

私たちと一緒に和気あいあいと、体を動かしてみませんか?

お気軽にお問い合わせください。
(インタビュー) 小松

お問い合わせ

西野良一

☎090-6273-6454



傍聴席へどうぞ 次の定例会は12月です

(日程については、議会事務局にお問い合わせください) TEL.0778-34-8712

**編集
後記**

今年、オリパラ2020東京大会やインターハイ等の大きなイベントが開催された反面、地域や学校等の様々なイベントは、昨年に引き続き中止となり、悔しい思いをされた町民の方も多くいらっしゃると思います。私も、今まで当たり前に出来ていたことが出来ないという窮屈さを実感しました。今後、どのように生活様式が変化するかは分かりませんが、人類は、様々な困難に立ち向かっていき、それを克服してきました。決して後ろ向きにならず、困難を克服しながら、前向きに頑張ってくださいませう。

「えちぜん議会だより」をとおして、町民の皆様が開かれた議会を目指し、議会の活動をこれからも伝えてまいりたいと思いますので、ご意見・ご要望がございましたら、是非お寄せください。(吉田)

議会広報特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 藤野 菊信 |
| 副委員長 | 小松 高宏 |
| 委員 | 米沢 康彦 |
| | 中西 清 |
| | 長谷川 眞恵 |
| | 石田 和朗 |
| | 吉田 憲行 |
| | 時田 和一良 |

バックナンバーが町のホームページでご覧いただけます

<http://www.town.echizen.fukui.jp/chousei/04/index.html>

